

デジ・ドッド・コム(DSOM)

アジアタの子会社セルコムとの統合交渉が大詰め。マレーシアの携帯通信最大手として 5G 通信で優位へ
 マレーシア | 無線通信 | 業績フォロー

BLOOMBERG DIGI:MK | REUTERS DSOM.KL

- 2020/12期4Q (10-12月) は、総収入が前年同期比7.0%減、EBITDAが同6.2%減、純利益が同18.4%減。設備投資支出増が減益に響いた。
- ゲーム利用や大企業向けソリューション事業の伸びによるデータ消費量拡大を受けインターネット・デジタル収入は同8.7%増だった。
- アジアタの子会社セルコムとの統合交渉が大詰め。実現すればマレーシアの携帯通信最大手として5G通信の研究開発で優位となろう。

What is the news?

1/27発表の2020/12期4Q (10-12月) は、総収入が前年同期比7.0%減の15.61億MYR、EBITDAが同6.2%減の7.66億MYR、純利益が同18.4%減の2.80億MYRだった。新型コロナウイルス感染再拡大に伴う消費やビジネスの支出減少が響き減収となったほか、利益面では総費用を同8.2%減と抑制したことでEBITDAマージン比率が同0.4ポイント上昇改善したものの、通信ネットワークの速さや繋がりやすさの改善を目的とした設備投資支出を同34.1%増と強化したことに伴う減価償却費増が響き減益となった。前四半期比でも、総収入が1.1%減、純利益が12.8%減と伸び悩んだ。

セグメント別の売上高は以下の通り。①インターネット・デジタル収入が前年同期比8.7%増の10.14億MYR。ゲーム利用や大企業向けソリューションビジネスの伸びに伴うデータ消費量の拡大が増収に寄与。インターネット登録者数は同7.4%減だったが、月間平均データ利用量は同28.2%増となった。②伝統的な音声やローミングサービス収入が同32.8%減の3.14億MYR。③デバイス・その他収入が同12.4%減の2.11億MYR。

How do we view this?

2021/12通期の会社計画は、通信サービス収入が前期比1桁台前半の減収、EBITDAが同1桁台半ばの減益、売上高設備投資比率が14.0-15.0% (前期実績14.2%)。顧客体験向上のためネットワークおよびITインフラへの設備投資に注力するものの、対2020年度では投資支出を抑える方針。

4/8、親会社のノルウェーの通信大手テレノールとマレーシアの通信大手アシアタ・グループ(AXIATA) は、デジ・ドッド・コム、およびアシアタの全額出資子会社のセルコムを統合する交渉が大詰めであると明らかにした。実現すれば加入者数が1,900万人を超える同国の携帯通信最大手となり、事業規模拡大によって5G通信に必要な多額の研究開発資金を確保できるとみられる。また、アシアタはインドネシアやバングラデシュなどアジア6カ国で通信事業を展開し、テレノールもアジア5カ国で展開することはデジ・ドッド・コムへの恩恵となろう。テレノールの筆頭株主であるノルウェー政府とインドネシア政府が環境問題で対立していることから、インドネシア以外の地域での統合が順次進むと見込まれる。

業績推移

※参考レート 1MYR=26.27円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高 (百万MYR)	6,527	6,297	6,152	6,028	6,109
当期利益 (百万MYR)	1,540	1,432	1,221	1,163	1,224
EPS (MYR)	0.20	0.18	0.16	0.15	0.16
PER (倍)	21.10	23.44	26.38	28.13	26.38
BPS (MYR)	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08
PBR (倍)	46.89	52.75	52.75	52.75	50.24
配当 (MYR)	0.20	0.18	0.16	0.15	0.16
配当利回り (%)	4.74	4.27	3.79	3.55	3.79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.15	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	4.22	2021/4/19

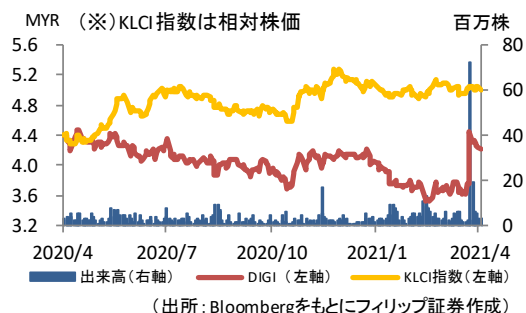
会社概要

1995年にマレーシアで初めてのデジタル移動通信サービスであるGSM1800サービスを開始した通信サービス会社。ノルウェーに本社を持つグローバルテレコミュニケーションプロバイダーのテレノール・グループの一員。2020年12月末現在、先進的な4Gプラスの通信ネットワーク上にマレーシア国内で約1,044万人の登録ユーザーを有し、4G LTEが92%、LTE-Aが75%のカバー率に達し、光ファイバーネットワークが9,981kmに達するなどマレーシア最大の通信ネットワーク網を擁する。通信サービスのほか、不動産経営 やその他関連サービスも展開する。

2020年10-12月では、インターネットへのアクセスユーザー数が稼働登録ユーザーで870万人の上った。デジタルソリューションであるスマートフォンアプリの「MyDigi」の平均月間稼働ユーザー数は440万人に到達し、同アプリ内のゲームサービスである「Republic GG」や娯楽・ライフスタイルを1カ所でまとめて楽しめる「Easy Add」が注目されている。

企業データ (2021/4/20)

ベータ値	0.86
時価総額(百万MYR)	32,577
企業価値=EV (百万MYR)	37,726
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	22.1



主要株主 (2021/4)

	(%)
1. テレノール	49.00
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	14.85
3. AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	8.53

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。